

WallFlex™ Duodenal Soft

ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト

デリバリーカテーテル

*「展開後近位マーカ」は、ステントが展開したときのステントのプロキシマル端のおおよその位置を示す目安です。

外筒マーカ 展開後近位マーカ* 限界マーカ 遠位側ハンドル 近位側ハンドル

ステント展開

外筒マーカ 展開後近位マーカ* 限界マーカ

展開後ステント形状

【ディスタル側】 断端ループ

【プロキシマル側】 マイグレーションが起きにくいフレア形状

ステントの再収納は**2回まで**可能です。
外筒マーカが限界マーカを越えると
ステントの再収納は行えません。

ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト

カタログ 番号	ステント径		ステント長 (cm)	デリバリー有効長 (cm)
	フレア部 (mm)	ボディ部 (mm)		
5580	23	18	6	230
5581	23	18	9	230
5582	23	18	12	230
5583	25	20	6	230
5584	25	20	9	230
5585	25	20	12	230
5586	27	22	6	230
5587	27	22	9	230
5588	27	22	12	230

Boston Scientific
Advancing science for life™

販売名：ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト
医療機器承認番号：22900BZX00029000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
© 2017 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

1710-31514-B-5 / PSST20171006-1041

Boston Scientific
Advancing science for life™

WallFlex™ Duodenal Soft

ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト

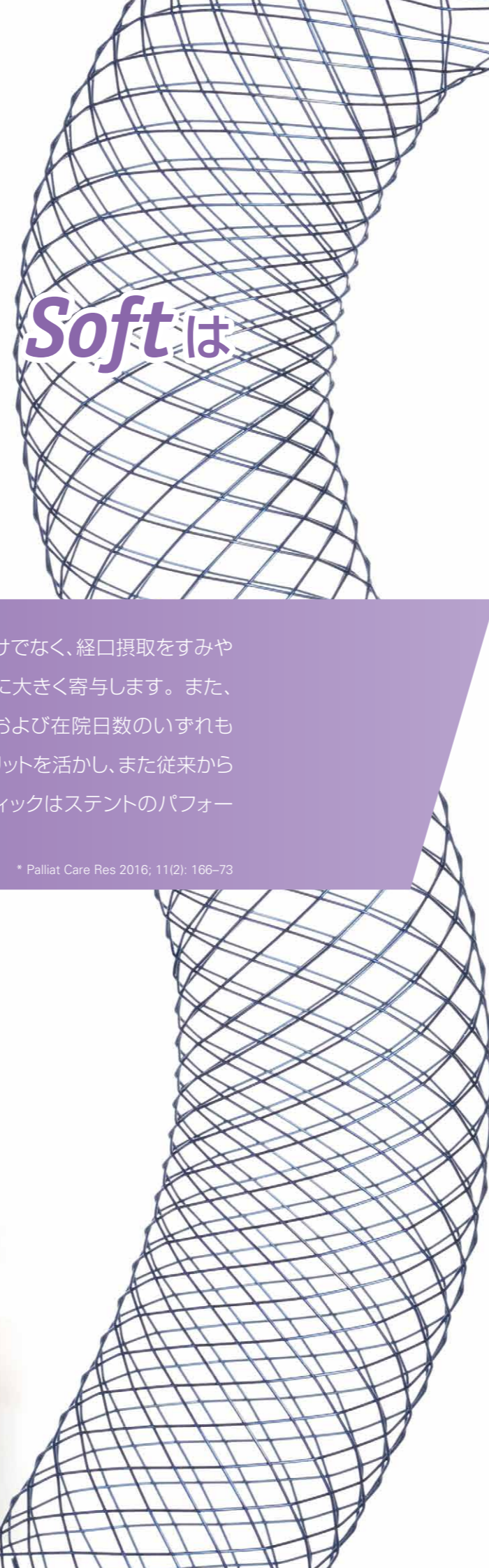
しっかり広げて、
しなやかに追従

患者さんの苦痛を和らげ、
実りある生活を送っていただくために。

WallFlex™ Duodenal Softは 3つの特長でステント治療の 質を高めます。

胃十二指腸ステント留置術は、経内視鏡的な低侵襲治療で症状を改善するだけでなく、経口摂取をすみやかに再開できる治療法として、手術不能悪性十二指腸閉塞患者のQOL向上に大きく寄与します。また、ステント治療は胃空腸バイパス術と比べ、症状緩和(食事再開)までの期間および在院日数のいずれも有意に短いという報告もあります*。臨床的に価値の高いステント治療のメリットを活かし、また従来から指摘されてきたステントの課題を克服するために、ポストン・サイエンティフィックはステントのパフォーマンスを最大化する新しい十二指腸用ステントを開発しました。

* Palliat Care Res 2016; 11(2): 166-73



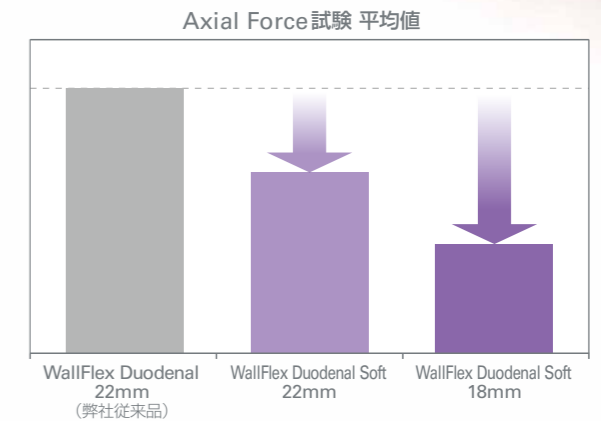
1 デザインはそのままに柔軟性を大幅に向上

WallFlexブランドで定評のある高い拡張力を発揮する「ブレイデッド(編み込み)」デザインはそのままに、ステントのワイヤを従来品比で約20%細くしました。柔軟性が30~60%向上しています。

Axial Forceが低減されたため、留置後の消化管に対する過度なストレスが抑えられます。



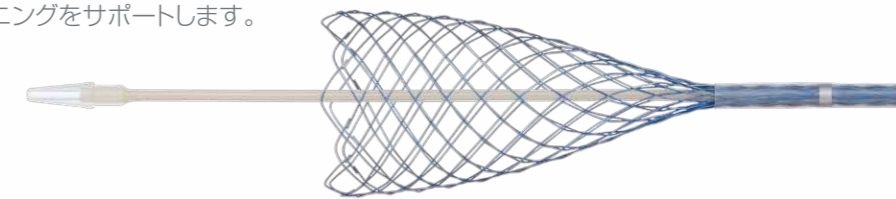
写真提供：前谷 容 先生
東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科



2 術者のストレスフリーな細径デリバリーシステム

9Frのデリバリーシステムは、鉗子口内の摩擦抵抗が少ないため、ステントリリースをストレス無くスムーズに行えます。

再収納機能との併用で、様々な症例で術者が意図する正確なステントのポジショニングをサポートします。



3 選べるサイズラインナップ

18mm / 20mm / 22mmの3つのステント径に対し、6cm / 9cm / 12cmの3つのステント長をそれぞれラインナップ。患者さんの病態や体格に合わせて最適なステントを選択いただけます。

